

鈴木康夫 教授

略歴と業績

略歴

鈴木康夫(すずき やすお)

学歴

- | | | |
|-------|----|-----------------------------------|
| 1982年 | 3月 | 東北学院大学経済学部経済学科卒業 |
| 1984年 | 3月 | 滋賀大学大学院経済学研究科修士課程(経済学専攻)修了(経済学修士) |
| 1984年 | 4月 | 大阪府立大学大学院経済学研究科博士後期課程(経済学専攻)入学 |
| 1992年 | 3月 | 同上大学院経済学研究科博士後期課程(経済学専攻)単位取得満期退学 |
| 2003年 | 7月 | 大阪府立大学・博士(経済学)学位取得 |

職歴

- | | | |
|-------|----|------------------------------------|
| 1992年 | 4月 | 熊本大学法学部(助教授) (~1998年3月) |
| 1998年 | 4月 | 滋賀大学経済学部(助教授) (~2005年2月) |
| 2005年 | 3月 | 滋賀大学経済学部(教授) (~2025年3月) |
| 2006年 | 4月 | 滋賀大学大学院博士後期課程担当教官(教授) (~2025年3月) |
| 2012年 | 4月 | 滋賀大学経済学部副学部長(総務・学生生活担当) (~2013年3月) |
| 2023年 | 4月 | 滋賀大学附属図書館副館長(~2025年3月) |

所属学会

日本経済学会、日本応用経済学会

その他の主な大学内委員

経済学科長、大学院専攻長、入学試験委員会委員、FD委員会委員長、教育学習支援室運営委員会委員長、大学院入試委員会委員、学部カリキュラム編成部会部会長、学部学生支援委員会委員長、彦根地区学生支援委員会委員長、経済学部学務委員会委員長、経済経営研究所評議員、人事委員、彦根地区附属図書館委員会委員長など。



社会における主な活動

(湖北広域行政事務センター関係)

2012年 10月 一般廃棄物最終処分場整備事業者選定委員会委員 (～2013年3月)

2013年 4月 廃棄物減量等推進審議会委員 (～現在に至る)

2017年 10月 (新)斎場整備事業者選定委員会委員(副委員長) (～2019年7月)

2021年 4月 (新)施設整備事業者選定委員会委員 (～2023年3月)

(大学生協および教職員組合関係)

2013年 5月 滋賀大学(彦根地区)生活協同組合理事長 (～2025年4月)

2014年 9月 滋賀大学彦根地区教職員組合執行委員長 (～2024年9月)

業績

著書(単著)

『不安定性原理とハロッド=ドーマー型経済変動成長理論』

(滋賀大学経済学部研究叢書第35号/滋賀大学経済学部/2001年3月)

『ケインズ革命とマクロ経済学』(昭和堂/2003年3月)

主な論文(単著)

『市場開放によるマクロ世界経済の最適成長』

(『現代経済学研究:経済的厚生と公共政策の経済分析』第5号pp.70-84/西日本理論経済学会/1995年5月)

『基本的な最適成長モデルと完全雇用』

(『彦根論叢』第344・345号pp.145-164/滋賀大学経済学会/2003年11月)

『ラムゼイの功利主義的至福と最適消費・資本蓄積理論』

(『滋賀大学経済学部研究年報』vol.10pp.79-93/滋賀大学経済学部/2003年12月)

『2階級経済モデルの新古典派的成長と古典的資本蓄積』

(『大阪府立大学経済研究』第50巻第1号pp.143-159/大阪府立大学経済学部/2004年12月)

『不安定性原理とハロッド変動成長理論における自律振動の可能性』

(『彦根論叢』第357号pp.143-163/滋賀大学経済学会/2006年1月)

『最適地域経済成長と資本蓄積の対地震防災』

(『彦根論叢』第361号pp.99-118/滋賀大学経済学会/2006年7月)

『短期的環境マクロ経済体系の動学的安定性』

(『東北学院大学経済学論集』第164号pp.37-57/東北学院大学学術研究会/2007年3月)

『ハロッド変動成長理論の不安定性と、企業行動の期待および不確定性』

(『彦根論叢』第370号pp.87-102/滋賀大学経済学会/2008年1月)

『閉鎖性水域での競争的漁業と生態的環境及び地域(局所)的TAC』

(『滋賀大学環境総合研究センター研究年報』Vol.9, No.1, pp.45-55. /2012年8月)